

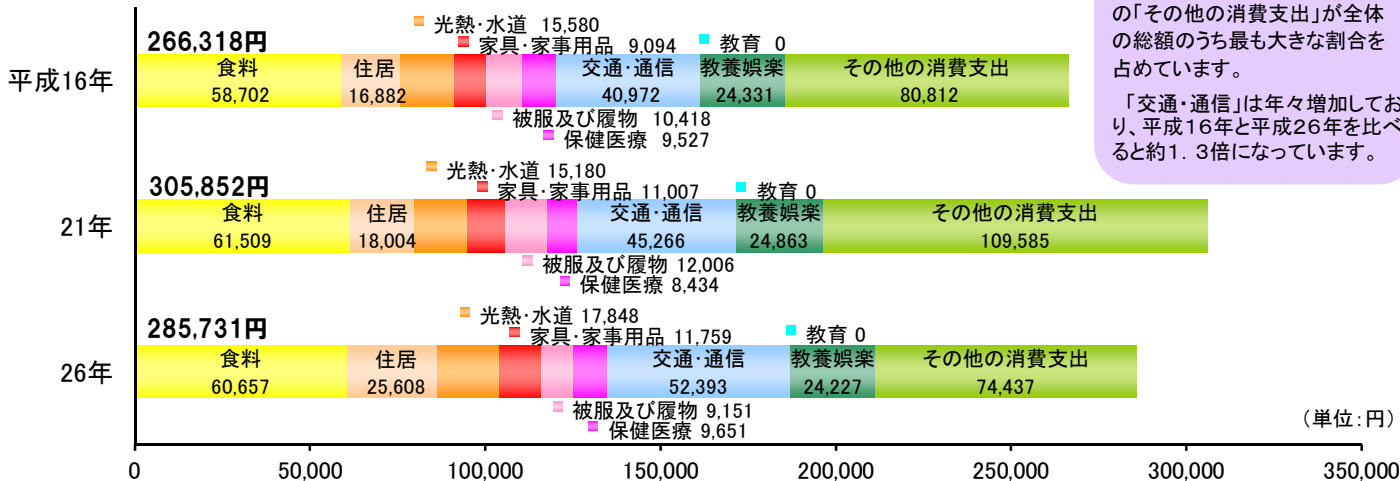
# 全国消費実態調査からみた鳥取県の家計の変化

## 1世帯当たり1か月間の平均消費支出(平成16年、21年、26年)

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯 調査期間:各年9月～11月)



### 夫婦のみの世帯

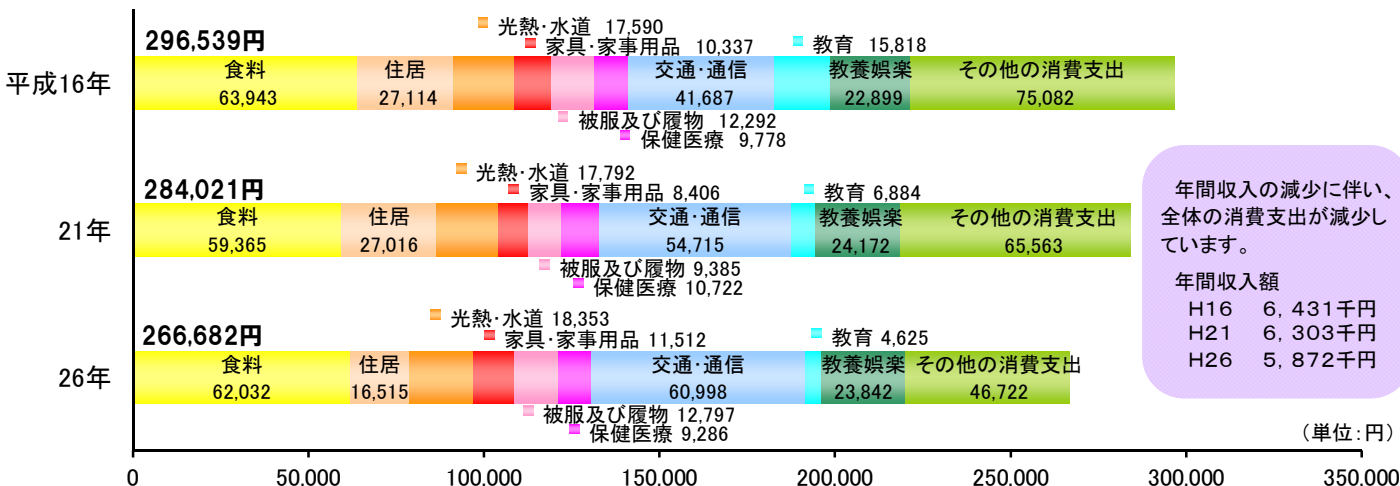


理美容サービスや交際費などの「その他の消費支出」が全体の総額のうち最も大きな割合を占めています。

「交通・通信」は年々増加しており、平成16年と平成26年を比べると約1.3倍になっています。



### 夫婦と子供が1人の世帯



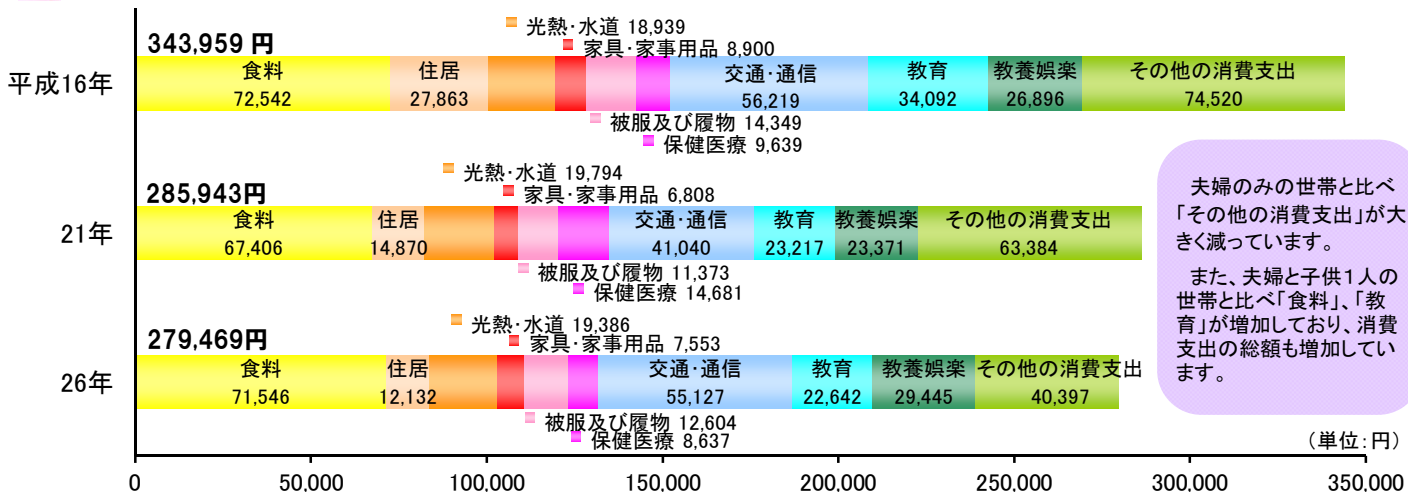
年間収入の減少に伴い、全体の消費支出が減少しています。

年間収入額

H16 6,431千円  
H21 6,303千円  
H26 5,872千円



### 夫婦と子供が2人の世帯



夫婦のみの世帯と比べ「その他の消費支出」が大きく減っています。

また、夫婦と子供1人の世帯と比べ「食料」、「教育」が増加しており、消費支出の総額も増加しています。

(注)平成26年全国消費実態調査を実施した平成26年9月から11月にかけては、平成26年4月の消費税率の引上げに伴う駆け込み需要の反動が見られる時期であるため、過去の結果と比較する際には注意が必要です。